



## 平成30年8月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成30年4月10日

上場会社名 株式会社トランザクション 上場取引所 東  
 コード番号 7818 URL http://www.trans-action.co.jp  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 石川 諭  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 北山 善也 TEL 03-6861-5577  
 四半期報告書提出予定日 平成30年4月13日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有  
 四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト向け）

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成30年8月期第2四半期の連結業績（平成29年9月1日～平成30年2月28日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年8月期第2四半期	7,694	19.1	846	19.1	844	25.4	540	23.4
29年8月期第2四半期	6,460	13.8	710	50.8	673	42.7	438	37.6

(注) 包括利益 30年8月期第2四半期 487百万円 (△5.0%) 29年8月期第2四半期 512百万円 (89.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年8月期第2四半期	19.05	18.83
29年8月期第2四半期	16.33	16.23

(注) 当社は、平成29年3月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「1株当たり四半期純利益」及び「潜在株式調整後1株当たり四半期純利益」を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年8月期第2四半期	9,495	6,967	73.4
29年8月期	9,293	6,724	72.4

(参考) 自己資本 30年8月期第2四半期 6,967百万円 29年8月期 6,723百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年8月期	—	0.00	—	10.00	10.00
30年8月期	—	0.00	—	—	—
30年8月期（予想）	—	—	—	12.00	12.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 平成30年8月期の連結業績予想（平成29年9月1日～平成30年8月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	14,458	7.2	1,601	11.3	1,616	15.3	1,053	12.9	37.04

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無  
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	30年8月期2Q	29,017,200株	29年8月期	28,898,800株
② 期末自己株式数	30年8月期2Q	515,612株	29年8月期	538,412株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	30年8月期2Q	28,405,042株	29年8月期2Q	26,863,170株

（注）当社は、平成29年3月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、発行済株式数（普通株式）を算定しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたって注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。
2. 当社は、平成30年4月18日に証券アナリスト・機関投資家向け決算説明会を開催する予定です。当日使用する決算説明資料につきましては、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	7
第2四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	8
第2四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益や雇用・所得環境の改善を背景に、個人消費が持ち直すなど緩やかな回復基調が続いておりますが、海外経済の不確実性や金融資本市場の変動の影響により、依然として先行き不透明な状況が続いております。

このような環境のもと、当社グループは、「成長戦略・効率化戦略・経営基盤強化」を基本方針として掲げ、魅力ある新製品の開発や新規事業の拡大、製造原価の低減などを推進し、「トランザクショングループ中期経営計画(第2次)」の達成に向けて取り組みを進めております。

カスタムメイド雑貨事業では、引き続きエンタテイメント業界などの注力顧客へ営業活動を強化し受注拡大に努めました。また、CRM(※1)をベースとしたデジタルマーケティングのノウハウをキャンペーン企画に活用することで、顧客企業のロイヤルティ向上や売上・利益拡大を支援する新たな施策の提供を始めるなど、「モノづくり」に係わる事業領域の拡大に向けた新サービスの充実を図ってまいりました。

オリジナル雑貨事業では、主力製品であるエコバッグやタンブラー・ボトルが引き続き好調に推移いたしました。また、ペットウェア雑貨製品では、取扱い店舗数の拡大に努めたほかカラー・リード・ハーネスなどの犬具の販売開始に向けた取り組みを行い、トラベル雑貨製品においては、子供から大人まで世界中で愛されている「ウォーリーをさがせ！」のライセンス契約を新たに締結いたしました。

V A P E 事業の店舗販売では、埼玉県初となる「大宮駅東口店」の出店により当上期の出店は4店舗、既存店は16店舗となりました。卸売販売においてはカートリッジ交換式V A P E「choistick」の販売を開始するなど取扱い商品の拡充を図り、WEB販売では運営する3サイトへのアクセス数を増加させることに加え、コンバージョン率(※2)やリピート率を上げるための各種施策を実施いたしました。

生産については、引き続き価格面と品質面で安定的な調達を継続すべく、中国及びその他アジア諸国における生産拠点の最適化を推進いたしました。

この結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は、76億94百万円(前年同期比12億34百万円、19.1%の増加)、営業利益は、売上高の伸長による売上総利益の確保及び利益率の改善により8億46百万円(前年同期比1億35百万円、19.1%の増加)となり、経常利益は8億44百万円(前年同期比1億70百万円、25.4%の増加)、親会社株主に帰属する四半期純利益は5億40百万円(前年同期比1億2百万円、23.4%の増加)となりました。

※1 CRMとは「Customer Relationship Management」の略称で、企業と顧客の関係性を中長期的かつ良好な関係に構築・管理するマネジメント手法。

※2 インターネット広告の成果を表す指標の一種で、WEBサイトを訪れたユーザーのうち実際に商取引などの成果に至ったユーザー割合のこと。

当第2四半期連結累計期間における販売経路別及び製品分類別の販売実績は、以下のとおりであります。

## &lt;販売経路別販売実績&gt;

販売経路	売上高		増減	
	前第2四半期 連結累計期間 (百万円)	当第2四半期 連結累計期間 (百万円)	増減額 (百万円)	増減率 (%)
エンドユーザー企業向け事業	3,260	3,562	301	9.2
卸売事業者向け事業	2,871	3,405	533	18.6
E C 事業及び小売り事業	328	727	399	121.6
合計	6,460	7,694	1,234	19.1

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

## ＜製品分類別販売実績＞

製品分類	売上高		増減	
	前第2四半期 連結累計期間 (百万円)	当第2四半期 連結累計期間 (百万円)	増減額 (百万円)	増減率 (%)
一般雑貨製品	3,562	4,537	974	27.4
エコ雑貨製品	2,357	2,573	216	9.2
ヘルスケア&ビューティ雑貨製品	403	446	43	10.7
その他	136	136	△0	△0.1
合計	6,460	7,694	1,234	19.1

(注) 1 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

2 その他は、設計・デザインの受託業務、印刷業務等の雑貨製品に該当しないものであります。

## (2) 財政状態に関する説明

## ①資産、負債及び純資産の状況

## (流動資産)

当第2四半期連結会計期間末における流動資産は、前連結会計年度末に比べ3億67百万円減少し、75億18百万円となりました。主な要因は、現金及び預金の減少9億96百万円、製品の増加3億98百万円、有価証券の増加1億98百万円によるものであります。

## (固定資産)

当第2四半期連結会計期間末における固定資産は、前連結会計年度末に比べ5億69百万円増加し、19億77百万円となりました。主な要因は、有形固定資産の増加3億61百万円、投資その他の資産の増加2億21百万円、無形固定資産の減少13百万円によるものであります。

## (流動負債)

当第2四半期連結会計期間末における流動負債は、前連結会計年度末に比べ14百万円減少し、18億85百万円となりました。主な要因は、未払法人税等の減少51百万円、買掛金の減少21百万円、預り金の増加57百万円によるものであります。

## (固定負債)

当第2四半期連結会計期間末における固定負債は、前連結会計年度末に比べ26百万円減少し、6億43百万円となりました。主な要因は、長期借入金の減少40百万円、退職給付に係る負債の増加12百万円によるものであります。

## (純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末に比べ2億43百万円増加し、69億67百万円となりました。主な要因は、利益剰余金の増加2億52百万円、新株予約権の行使による資本金の増加16百万円及び資本剰余金の増加16百万円、並びに繰延ヘッジ損益の減少43百万円によるものであります。

## ②キャッシュ・フローの状況の分析

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べて9億96百万円減少し、26億60百万円となりました。

## (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果、当第2四半期連結累計期間に得られた資金は1億69百万円(前年同期に得られた資金は1億57百万円)となりました。主な要因は、税金等調整前四半期純利益8億44百万円、減価償却費48百万円、法人税等の還付額25百万円、退職給付に係る負債の増加額14百万円による資金の増加及びたな卸資産の増加額4億2百万円、法人税等の支払額3億72百万円による資金の減少であります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果、当第2四半期連結累計期間に使用した資金は8億64百万円(前年同期に使用した資金は1億54百万円)となりました。主な要因は、有形固定資産の取得4億27百万円、投資有価証券の取得3億28百万円、敷金及び保証金の差入54百万円、保険積立金の積立48百万円による資金の減少であり、これらの資金は自己資金並びに増資資金でまかなっております。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果、当第2四半期連結累計期間に使用した資金は2億92百万円(前年同期に得られた資金は19億16百万円)となりました。主な要因は、配当金の支払額2億87百万円、長期借入金の返済1億50百万円による資金の減少及び長期借入れによる収入1億円、新株予約権の行使による株式の発行による収入33百万円による資金の増加であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年8月期第2四半期累計期間の業績予想につきましては、平成30年3月27日公表の「第2四半期連結累計期間の業績予想の修正に関するお知らせ」において、平成29年10月12日の公表数値を修正いたしました。

通期連結業績予想につきましては、当第2四半期連結累計期間の経営成績を受け、今後の動向を踏まえて、業績予想の修正が必要であると判断した場合には速やかに公表いたします。

なお、業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後の様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成29年8月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成30年2月28日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,657,241	2,660,761
受取手形及び売掛金	1,939,864	1,932,155
有価証券	87,701	285,754
製品	1,783,075	2,181,873
その他	423,002	460,303
貸倒引当金	△5,382	△2,785
流動資産合計	7,885,504	7,518,062
固定資産		
有形固定資産	385,649	747,167
無形固定資産		
その他	102,155	88,598
無形固定資産合計	102,155	88,598
投資その他の資産		
投資有価証券	188,014	311,734
その他	740,009	835,311
貸倒引当金	△7,993	△5,260
投資その他の資産合計	920,031	1,141,785
固定資産合計	1,407,835	1,977,551
資産合計	9,293,339	9,495,613

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成29年8月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成30年2月28日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	719,635	697,798
1年内返済予定の長期借入金	281,682	271,803
未払法人税等	342,560	291,311
賞与引当金	159,737	156,905
株主優待引当金	13,386	13,117
ポイント引当金	7,551	8,757
その他	375,207	445,378
流動負債合計	1,899,760	1,885,071
固定負債		
長期借入金	331,897	291,760
退職給付に係る負債	275,516	287,861
資産除去債務	49,950	54,912
その他	12,032	8,566
固定負債合計	669,395	643,100
負債合計	2,569,156	2,528,171
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,510,662	1,527,386
新株式申込証拠金	—	6,486
資本剰余金	1,736,874	1,753,598
利益剰余金	3,555,988	3,808,020
自己株式	△119,567	△114,496
株主資本合計	6,683,957	6,980,994
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△2,863	△6,621
繰延ヘッジ損益	5,093	△38,082
為替換算調整勘定	49,753	41,160
退職給付に係る調整累計額	△11,998	△10,190
その他の包括利益累計額合計	39,984	△13,734
新株予約権	242	181
純資産合計	6,724,183	6,967,441
負債純資産合計	9,293,339	9,495,613

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年9月1日 至平成29年2月28日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年9月1日 至平成30年2月28日)
売上高	6,460,437	7,694,471
売上原価	4,182,015	4,856,775
売上総利益	2,278,422	2,837,696
販売費及び一般管理費		
給料及び手当	564,086	722,564
賞与引当金繰入額	127,967	135,602
退職給付費用	26,821	26,032
貸倒引当金繰入額	△1,265	△1,506
株主優待引当金繰入額	5,241	13,117
ポイント引当金繰入額	2,561	1,205
その他	842,088	1,093,858
販売費及び一般管理費合計	1,567,500	1,990,875
営業利益	710,922	846,820
営業外収益		
受取利息	63	5,387
受取保証料	3,466	3,466
その他	1,063	1,497
営業外収益合計	4,593	10,350
営業外費用		
支払利息	1,483	1,422
新株発行費	21,247	—
為替差損	19,205	11,216
その他	—	63
営業外費用合計	41,936	12,701
経常利益	673,578	844,469
特別利益		
固定資産売却益	420	—
新株予約権戻入益	3	1
特別利益合計	423	1
特別損失		
固定資産売却損	150	—
固定資産除却損	889	0
特別損失合計	1,040	0
税金等調整前四半期純利益	672,961	844,471
法人税、住民税及び事業税	260,622	290,127
法人税等調整額	△26,241	13,349
法人税等合計	234,380	303,476
四半期純利益	438,581	540,994
親会社株主に帰属する四半期純利益	438,581	540,994

(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年9月1日 至平成29年2月28日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年9月1日 至平成30年2月28日)
四半期純利益	438,581	540,994
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	—	△3,757
繰延ヘッジ損益	44,762	△43,175
為替換算調整勘定	26,567	△8,593
退職給付に係る調整額	2,829	1,807
その他の包括利益合計	74,158	△53,718
四半期包括利益	512,739	487,276
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	512,739	487,276
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年9月1日 至平成29年2月28日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年9月1日 至平成30年2月28日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	672,961	844,471
減価償却費	35,121	48,304
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△3,457	△5,329
賞与引当金の増減額(△は減少)	63,757	△2,861
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	19,077	14,960
株主優待引当金の増減額(△は減少)	677	△268
ポイント引当金の増減額(△は減少)	2,561	1,205
受取利息及び受取配当金	△63	△5,387
支払利息	1,483	1,422
新株発行費	21,247	—
固定資産除売却損益(△は益)	619	0
売上債権の増減額(△は増加)	△204,062	9,459
たな卸資産の増減額(△は増加)	△102,734	△402,582
仕入債務の増減額(△は減少)	△16,435	△20,437
前渡金の増減額(△は増加)	△28,547	△19,580
その他	△26,365	50,199
小計	435,841	513,576
利息及び配当金の受取額	63	5,881
利息の支払額	△2,074	△1,574
法人税等の還付額	45,841	25,053
法人税等の支払額	△321,890	△372,991
営業活動によるキャッシュ・フロー	157,781	169,945
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△55,357	△427,596
無形固定資産の取得による支出	△2,880	△5,025
投資有価証券の取得による支出	—	△328,876
敷金及び保証金の差入による支出	△51,228	△54,275
敷金及び保証金の回収による収入	4,088	—
保険積立金の積立による支出	△48,999	△48,999
その他	270	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△154,107	△864,773
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の増減額(△は減少)	△115,000	—
長期借入れによる収入	—	100,000
長期借入金の返済による支出	△167,292	△150,016
株式の発行による収入	2,374,865	—
新株式申込証拠金の払込による収入	—	6,486
自己株式の売却による収入	4,670	5,071
新株予約権の行使による株式の発行による収入	—	33,387
配当金の支払額	△181,059	△287,918
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,916,184	△292,989
現金及び現金同等物に係る換算差額	11,787	△8,663
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	1,931,646	△996,480
現金及び現金同等物の期首残高	1,413,797	3,657,241
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,345,443	2,660,761

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。